



みなとしみず

発行

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎事務所/下田港事務所/田子の浦港分室
静岡市清水区日の出町7番2号
TEL. 0543-52-4146
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

澤田事務所長 着任のあいさつ



〈澤田 泰征 所長〉

4月1日から所長になりました澤田です。

私は埼玉県出身で役所に入ってから主に道路分野を担当しており、ここに来る前2年間は茨城県つくば市にある土木研究所でトンネル関係の研究に従事するなど、これまではあまり海や港とは直接縁のない生活をしておりました。清水に着任してからは昼休みに事務所の近くを散策したりするのですが、海の見える場所に行くと何となく落ち着くというか安らぎを感じるので、週に何度もマリパークやエスパルスドリームプラザ前のウッドデッキでヨットを眺めたりしています。この付近は平日でも結構な賑わいがありますが、バスで来ている観光客だけでなくきっと私のように海の見える景色に心惹かれて何度も足を運んでいる人がたくさんいるのだと思います。

また、仕事柄地元の人たちとお話をする機会もありましたが、清掃美化活動やいろいろな人を呼ぶ講演会活動など、いろいろな分野で人任せでなくて「自分の出来ることをやろう」という元気のよい人がたくさんいるように思えます。私は港のことはまだ、あまりよくわかりませんが、清水港は港が駅やまちのすぐそばにあつていろいろな使い方のできる可能性を秘めたおもしろい港だと思っています。私もこれらの人を見習って、事務所職員や関係の皆様のお力を借りながらではありますが、自分の出来ることから仕事をすすめ、「みなとまち清水」の発展に貢献できるよう頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

平成18年度 港湾整備事業内容・予算

今年度の当事務所が整備する港は4港で、実施する事業費は下表のとおり、約43億円となっています。

清水港では平成15年7月に供用開始された新興津国際海上コンテナターミナル(水深15m)がある新興津地区において、港内の静穏度を確保するための防波堤整備と、泊地を確保するための浚渫を推進します。また、日の出地区において、棧橋の基礎杭及び上部工について改良を行い、公共埠頭施設の延命化を図ります。

御前崎港では平成16年1月に供用開始された御前崎多目的国際ターミナル(水深14m)のある女岩地区において、港内静穏度を確保するための防波堤整備を推進します。

田子の浦港では今年度より、中央地区岸壁(水深12m)の工事に着手するとともに、水深9mでの供用を行っている航路及び泊地の増深改良(水深9m→水深12m)を行うことにより船舶の入港制限を解消し、地域産業への負担の軽減を図ります。また、中央地区岸壁は耐震強化岸壁として整備しますので、大規模地震災害時には緊急物資等の海上輸送が確保され、被災直後の復旧に大きな効果を発揮します。

下田港は避難港に指定されており、避難船舶を守るため防波堤整備を推進します。また、近い将来予想される大規模地震に対する津波防波堤として背後の住民、財産を津波から守る、津波低減効果が期待されます。

平成18年度港湾整備事業費

(単位:百万円)

港名	地区	整備目的	事業費
清水港	新興津地区	国際海上コンテナターミナル関連施設整備 等	1,388
御前崎港	女岩地区	港内静穏度確保の防波堤整備	780
田子の浦港	中央地区	多目的国際ターミナル(-12m) 関連施設整備	1,060
下田港	下田地区	船舶避難の為の防波堤整備	1,074
合 計			4,302

清水港 お茶輸出 100周年 《清水港》

5月13日(土) 清水港お茶直輸出100周年記念事業実行委員会主催で「発見!体験!お茶100年祭」が清水マリンターミナルにて行われました。



今から100年前、明治39年(1906年)は清水港にとって歴史に残る年で、その年の5月13日に日本郵船「神奈川丸」が清水港に入港し、静岡茶を積載して北米に向けて出港しました。これが清水港からのお茶の輸出始まりです。これを機に、清水港からのお茶輸出量は急増し、明治42年には初めて横浜港を追い越し、大正6年(1917年)には、全国輸出高の77%を占めるまでになり、清水港は日本一のお茶輸出港となりました。

平成15年は、お茶の全国輸出高63%で、静岡県は日本一となっております。

第7回 清水港フラワーショーが開催されました 《清水港》



5月20日(土)~21日(日)に清水マリンターミナルで“第7回清水港フラワーショー”が開催され、当事務所は清水港管理局と共同ブースを出展して、パネルや模型を使い清水港をPRしました。このフラワーショーは清水港の輸入促進を通して、政令指定都市「静岡市」の経済の振興や文化の向上を図る事を目的として静岡県、静岡市、清水商工会議所などで構成される清水港フラワーショー実行委員会が主催で開催しています。



今年はJA静岡が開発した「イルミネーションローズ(光るバラ)」の展示があり来場者数も約23,000人と盛況に終わりました。

地中海定期コンテナ航路が開設 《清水港》

4月から清水港に外資コンテナ船の地中海定期航路が新設。週一便、毎週日曜日入港予定です。主な貨物は輸出が二輪車、輸入は雑貨になります。現在、清水港の定期航路は22航路となっております。

航路は、清水→中国→マレーシア→エジプト→イタリア→エジプト→マレーシア→名古屋→横浜→清水を回ります。

北米・欧州	北米西岸	ヨーロッパ	東南アジア	韓国・中国・台湾
1航路	1航路	2航路	8航路	10航路

22航路 22.5便(平成18年5月31日現在)

豪華客船「ザワールド」が寄港しました 《清水港》



4月12日(水)にマンション型豪華客船「ザワールド」(43,524トン)が清水港に初寄港しました。



「ザワールド」は世界初の洋上マンション型豪華客船で、分譲される110室・ゲスト用スイートルーム88室の計198室を有しています。世界中をクルージングしながら、世界的イベントに合わせて当該都市にとどまるようにスケジュールが組まれているそうです。

まさに「夢の豪華客船」を一目見ようと、大勢の方々が見学に訪れていました。

NPO法人 Be-club主催イベント 《清水港》

5月17日(水)にNPO法人Be-club主催で、大湫宿(おおくてしゅく)から江尻宿へ～みずの街道100年ものがり～と題し、岐阜県瑞浪市立瑞浪中学校2年生が清水マリンターミナルにてクリーンアップの疑似体験を行いました。



ボランティア活動や環境問題に取り組んでいる生徒たちは、岐阜県が海に面していないことから「海岸清掃活動を学びたい。」とBe-clubに依頼があったのがきっかけで、昨年、当事務所で取り組んだ“体験学習による清水港観光交流促進協議会”と連携しイベントを開催することになりました。当日は5月14日(日)に行われたビーチクリーンアップで集めたゴミをブルーシートの上に並べ、ゴミの分別を体験してもらい、生徒からは「いろいろなゴミがあり驚いた。」「分別が難しかった。」などの意見がありました。

第67回 黒船祭が開催されました 《下田港》

第67回黒船祭が5月19日(金)～21日(日)に開催されました。

残念ながら初日は昼すぎから雨が降るあいにくの天候となりましたが、各会場で色々な記念セレモニーが執り行われ、日米友好親善を深く確かめました。



二日目の記念式典は雨のため会場を市民文化会館へと変更し、厳かに執り行われ、終了時には雨が上がり青空となってパレード行進が華やかにスタートし沿道の見物人を楽しませました。商店街では店主や作業員が幕末の服装に扮し、市民や観光客もそれぞれ仮装してお互いに写真を撮り合う場面もしばしば見受けられました。

三日目の最終日には、各会場で日米親善スポーツ大会が晴天の中行われ、賑わいを見せ無事閉幕となりました。余談ですが我が下田港事務所職員もビーチバレーボール大会に参加しましたが結果は惨敗。一勝もあげることなく、がっかりと会場をあとにしました。

～アカウミガメの産卵・放流観察会 《御前崎港》～

御前崎は、「御前崎のウミガメ及びその産卵地」として国の天然記念物に指定されています。例年、5月下旬から8月下旬にアカウミガメは砂浜に産卵し、2ヶ月程でふ化します。今年の産卵観察会は7月15日(土)～31日(月)の20:30より、放流観察会が8月25日(金)～31日(木)の7:00に行われます。

詳細については、御前崎市社会教育課(電話0548-63-1129)または御前崎市のホームページ(http://www.city.omaezaki.shizuoka.jp/05/05_umigame/umigame.html)をご覧ください。

～海交流2006が開催されます 《田子の浦港》～

<平成16年 田子浦みなと祭りの様子>



7月16日(日)に市民や観光客が海に親しむ拠点となる「海の駅」を、田子の浦港に整備していくことを目指し、海の活用方法を検証することを目的に、田子の浦港(富士埠頭・鈴川埠頭)にて海交流2006が開催されます。

富士埠頭では「田子浦みなと祭り」が16:00から行われます。江川さくら太鼓、大漁木やり唄の郷土芸能や、花火大会などが予定されています。

鈴川埠頭では「モトマリンフェスタ」が10:00から行われます。アマチュアバンドの演奏、鬼太鼓座・市内太鼓団体の演奏や、フリーマーケットなどが予定されています。

